

これからの神戸の学校教育に関する児童生徒・保護者アンケート 集計結果

■結果概要

(1) 回答数：児童生徒 42,114名、保護者 26,017名

(2) 「学校にのぞむこと、期待すること」の上位7項目

保護者	1 確かな学力	2 豊かな心	3 体験学習	4 国際教育	5 主体的学び	6 先生の資質	7 先生の働き方改革
児童生徒全体	1 体験学習	2 健やかな体	3 確かな学力	4 先生の資質	5 主体的学び	6 ICT利活用	7 芸術教育
小学生	1 体験学習	2 健やかな体	3 確かな学力	4 先生の資質	5 ICT利活用	6 芸術教育	7 主体的学び
中学生	1 確かな学力	2 体験学習	3 健やかな体	4 先生の資質	5 主体的学び	6 学校の安全安心	7 芸術教育
高校生	1 確かな学力	2 先生の資質	3 健やかな体	4 体験学習	5 主体的学び	6 ICT利活用	7 学校の安全安心
特支生	1 学校の安全安心	2 先生の資質	3 健やかな体	4 確かな学力	5 ICT利活用	6 芸術教育	7 体験学習

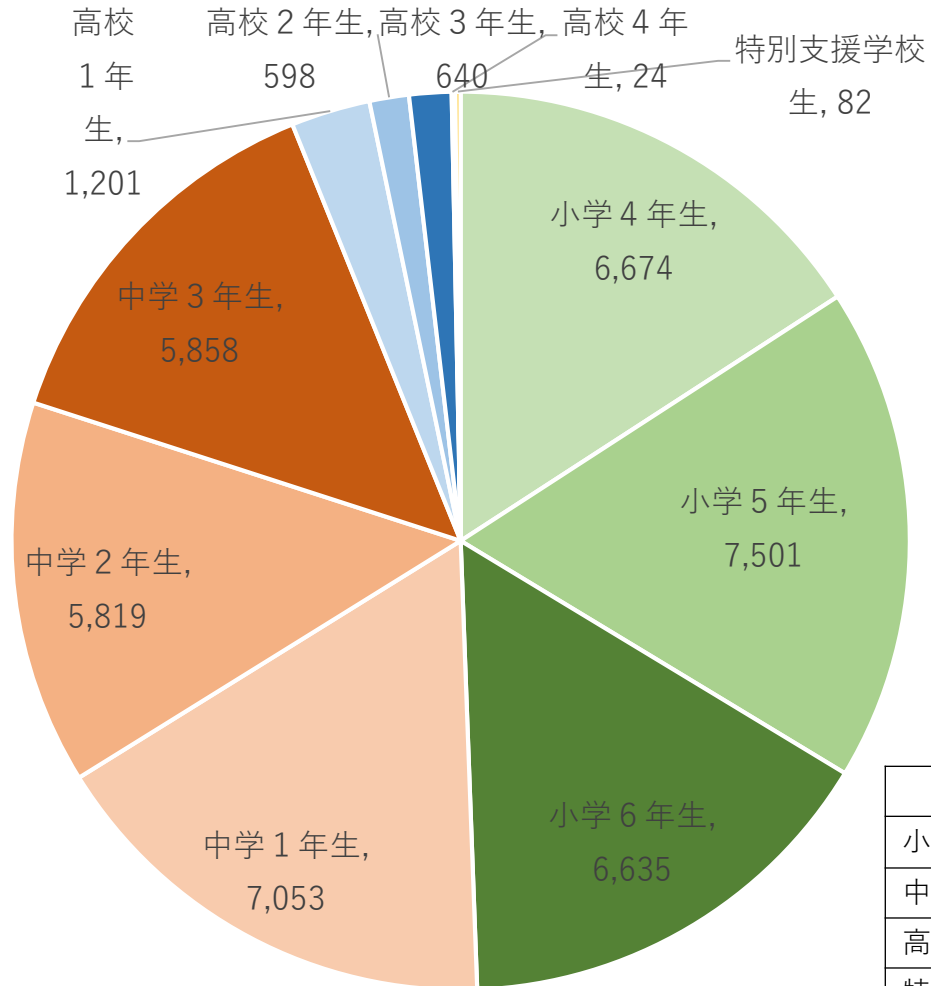
- ・児童生徒、保護者ともに「確かな学力」「体験学習」「主体的な学び」の割合が高い。
- ・その他の項目では、児童生徒が「健やかな体」「ICT利活用」「芸術教育」の割合が高い一方、保護者は「豊かな心」の育成や「国際教育」、「先生の働き方改革」の割合が高い。

(3) 自由記述回答者数：27,516名（全体の約40%）

児童生徒・保護者アンケート集計

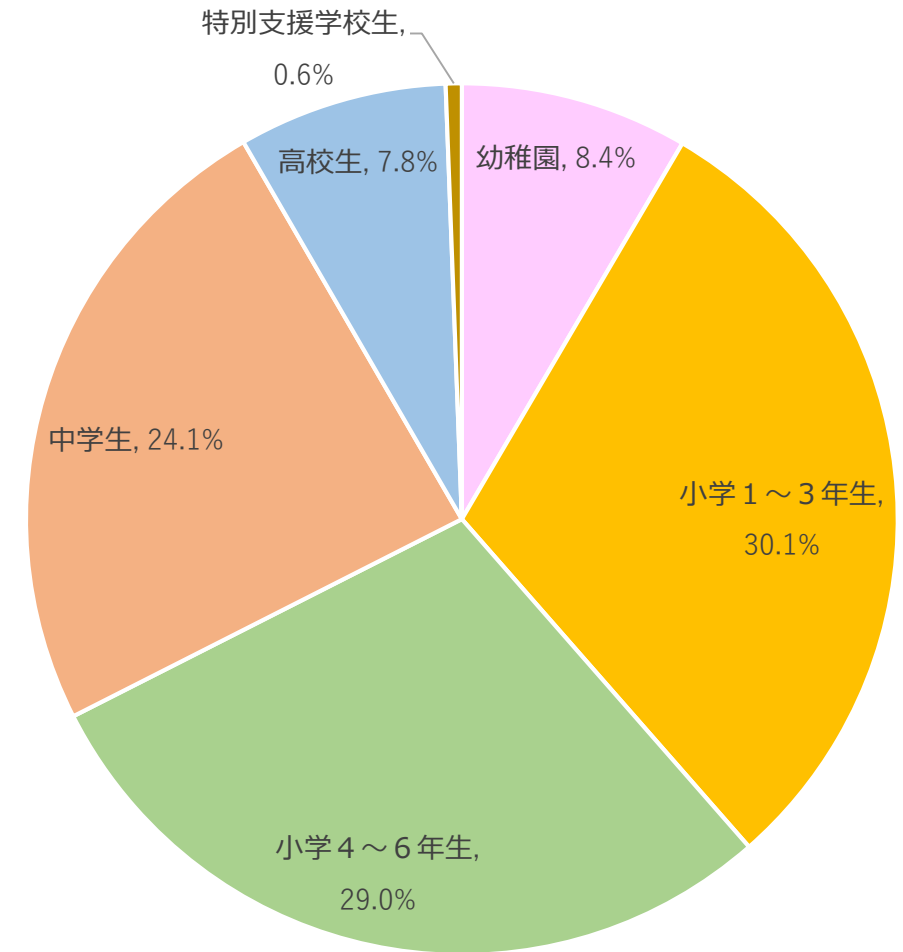
■校種・学年別内訳

児童生徒42,114名



学校種別	回答率
小学4～6年生	57.4%
中学生	55.3%
高校生	43.0%
特別支援学校生	7.6%

保護者26,017名

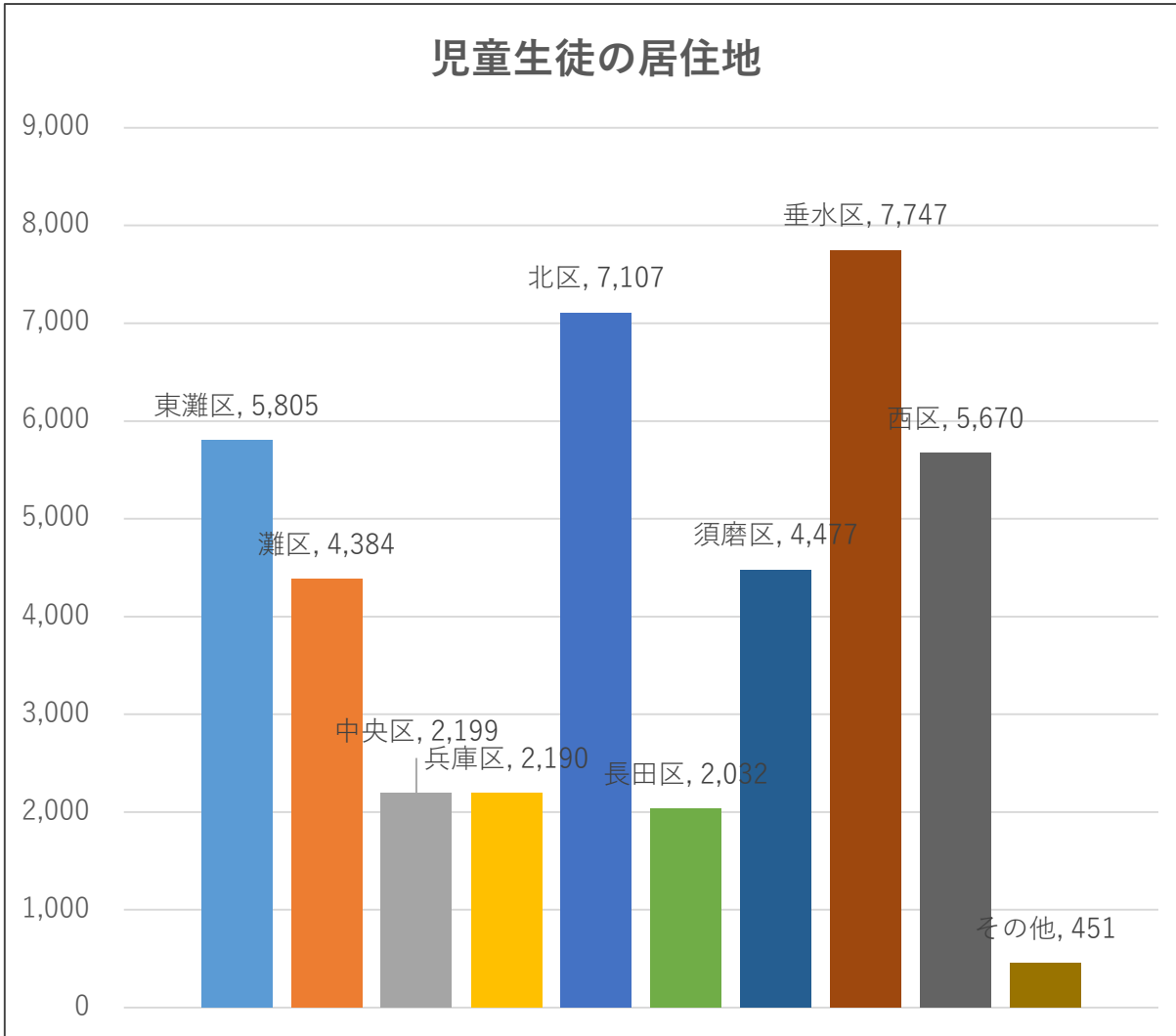


※複数の子供がいる保護者もあるため、割合で示しています。
兄弟姉妹が市立学校園以外に在籍している場合も含まれます。

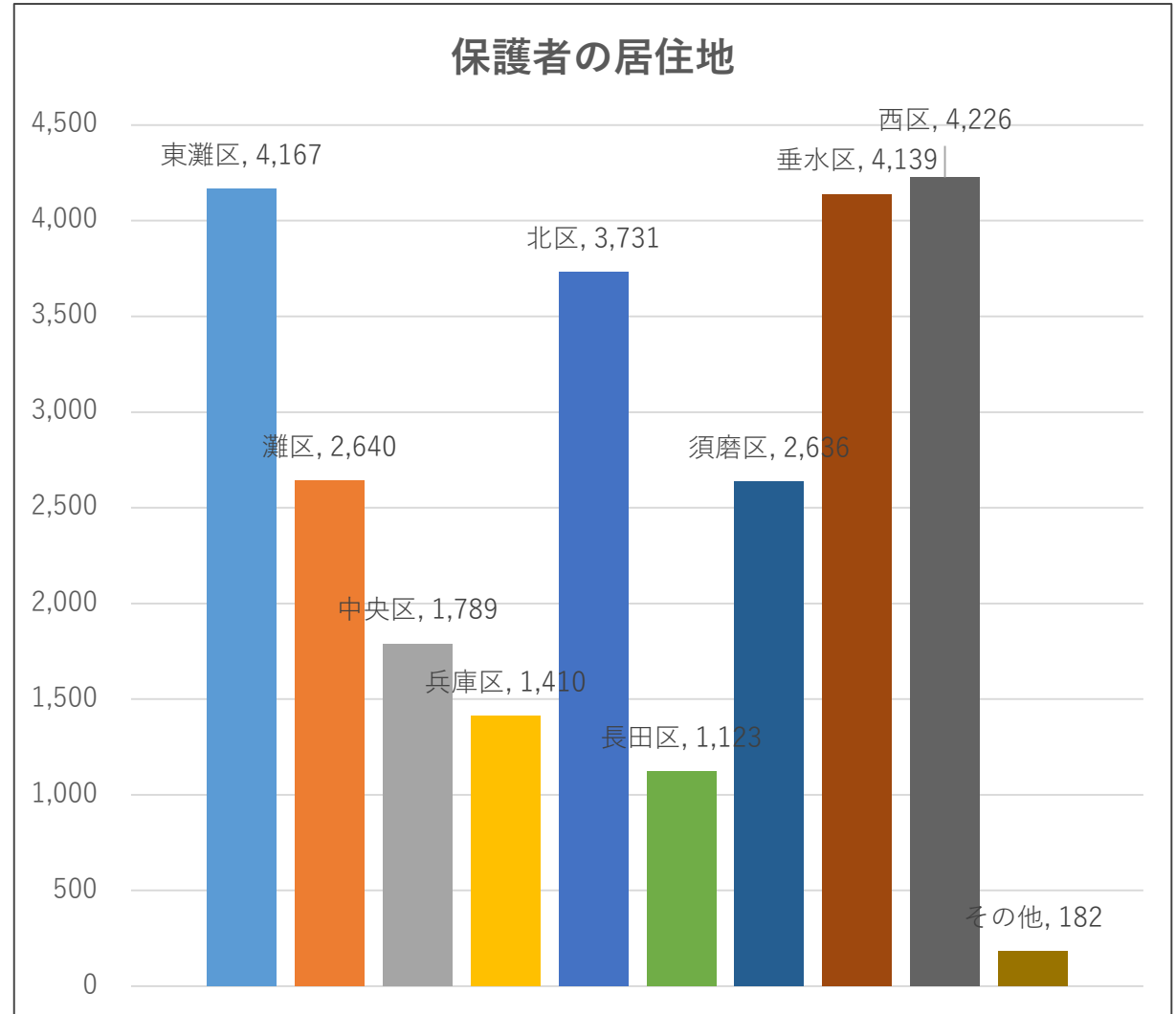
児童生徒・保護者アンケート集計

■居住地別内訳

児童生徒の居住地



保護者の居住地

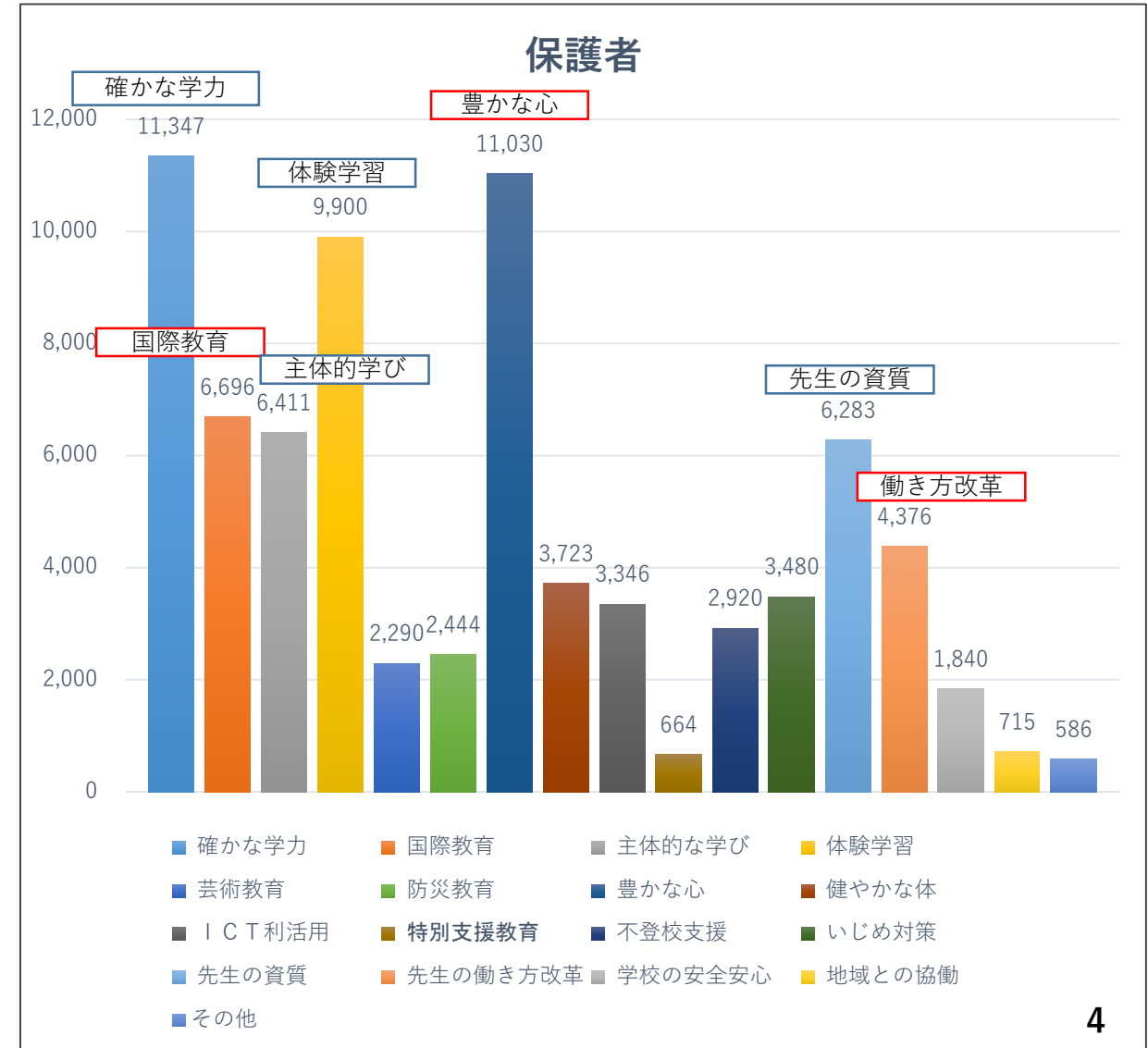
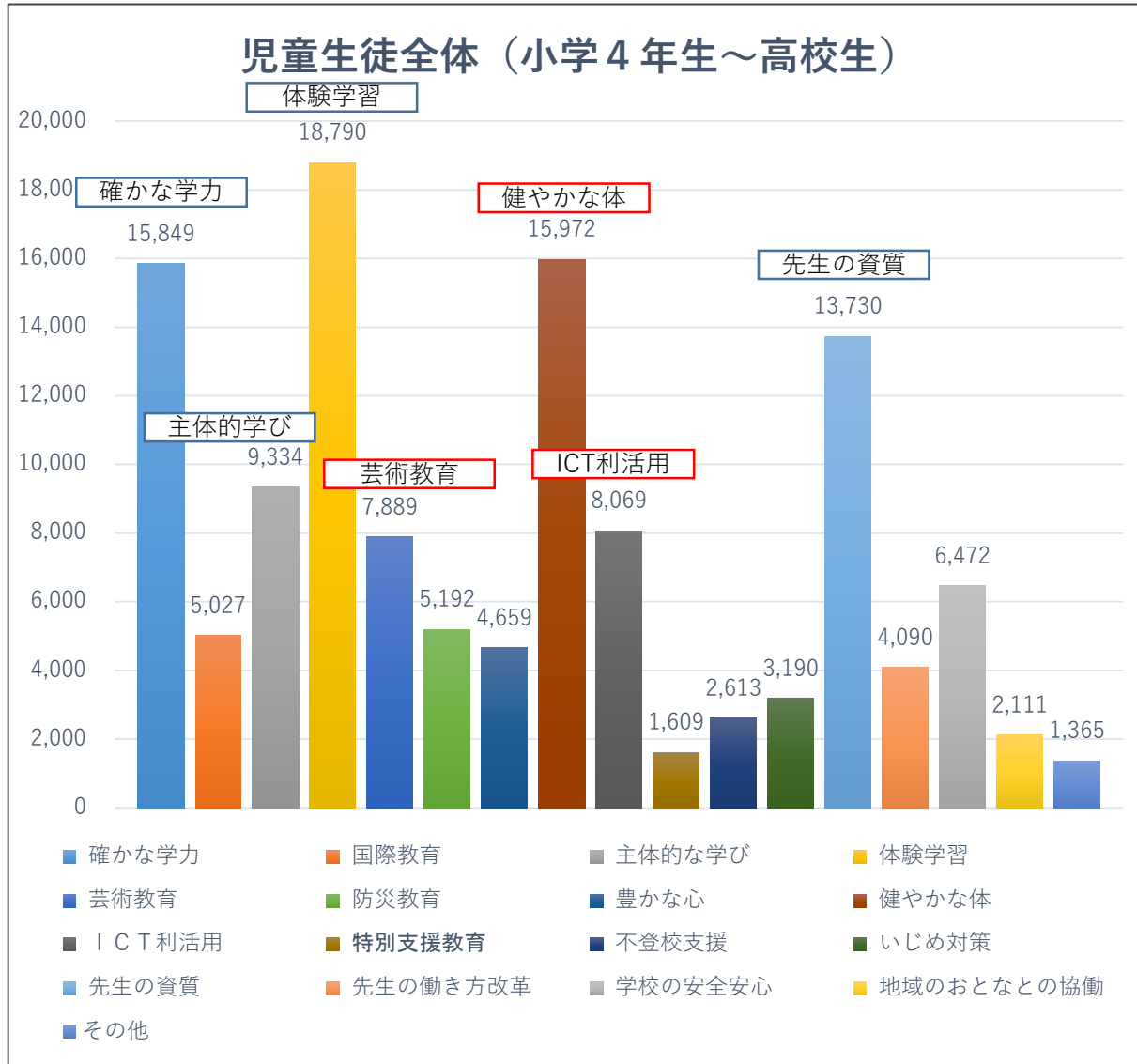


児童生徒・保護者アンケート集計（学校にのぞむこと、期待すること）

■児童生徒全体・保護者

回答数：42,114名

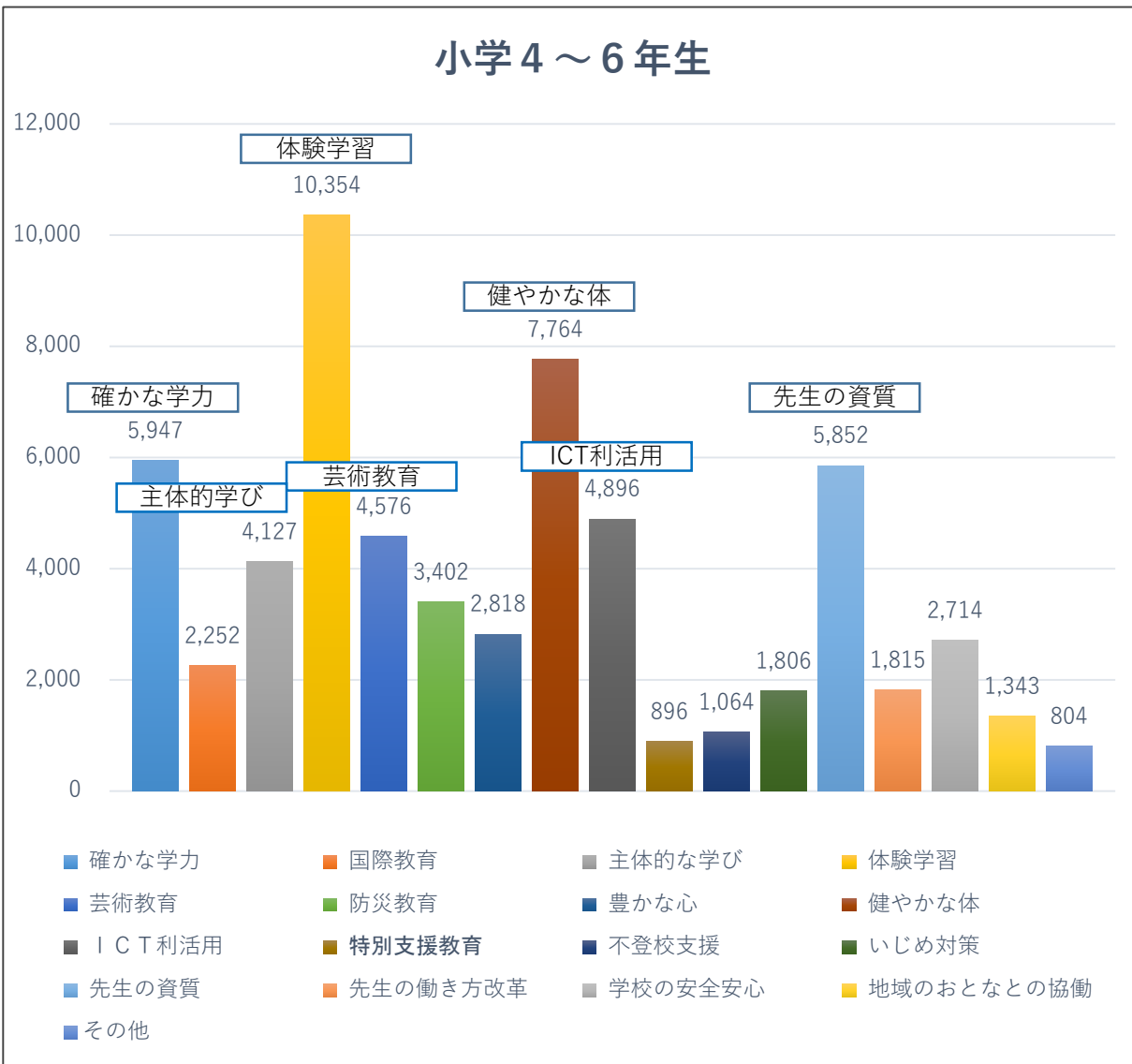
回答数：26,017名



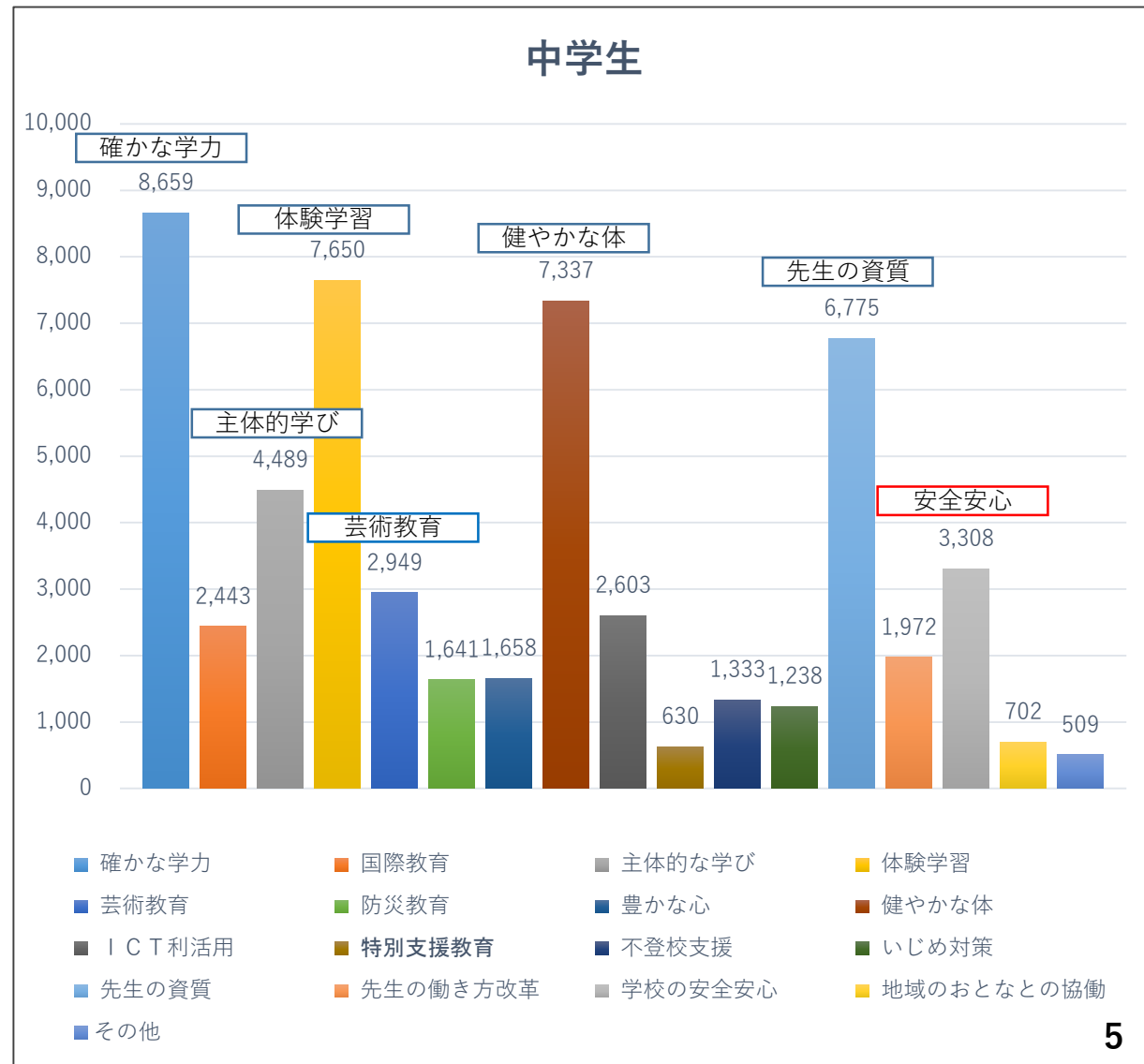
児童生徒・保護者アンケート集計（学校にのぞむこと、期待すること）

■ 児童生徒の内訳

回答数：20,810名



回答数：18,759名



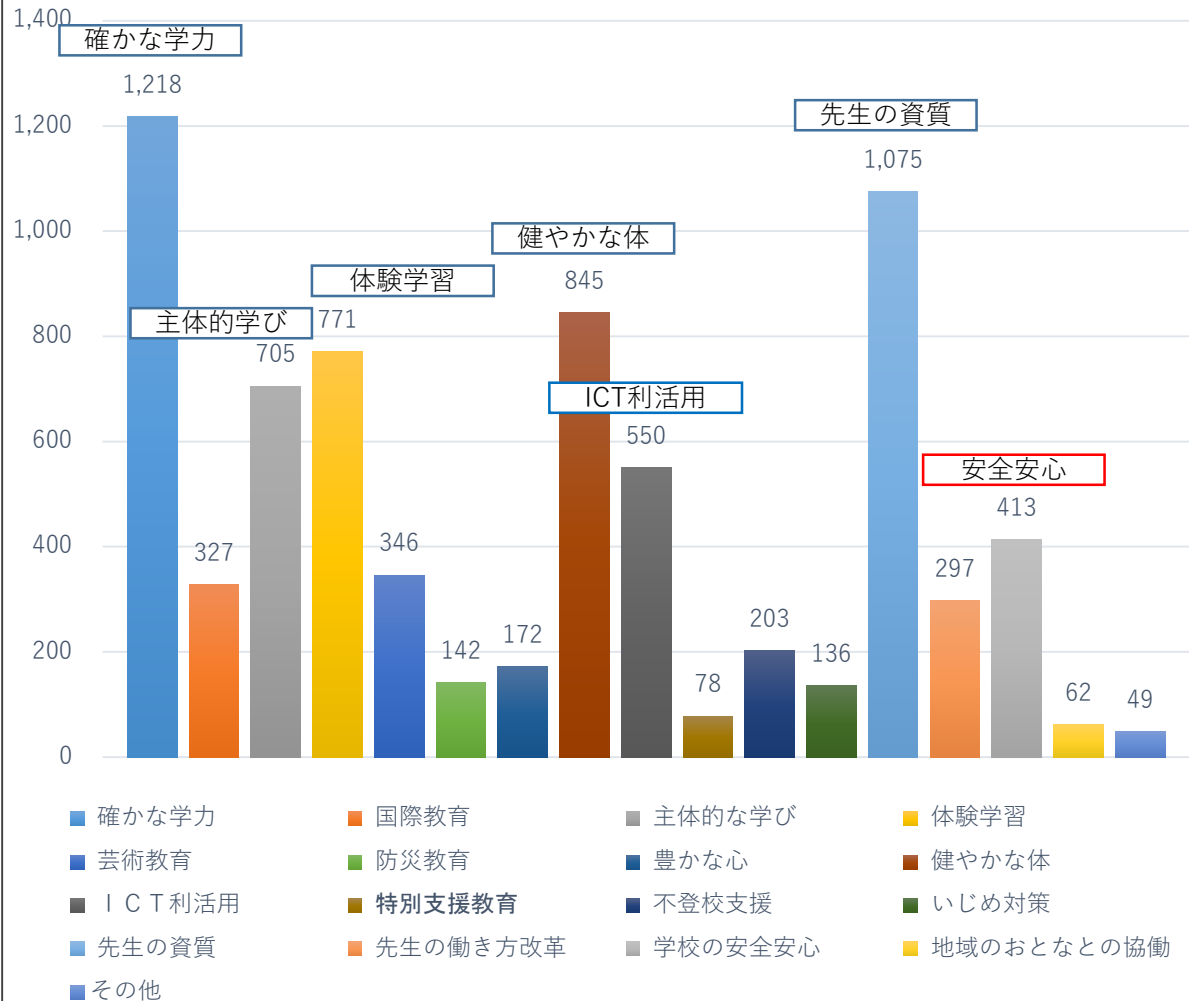
児童生徒・保護者アンケート集計（学校にのぞむこと、期待すること）

■児童生徒の内訳

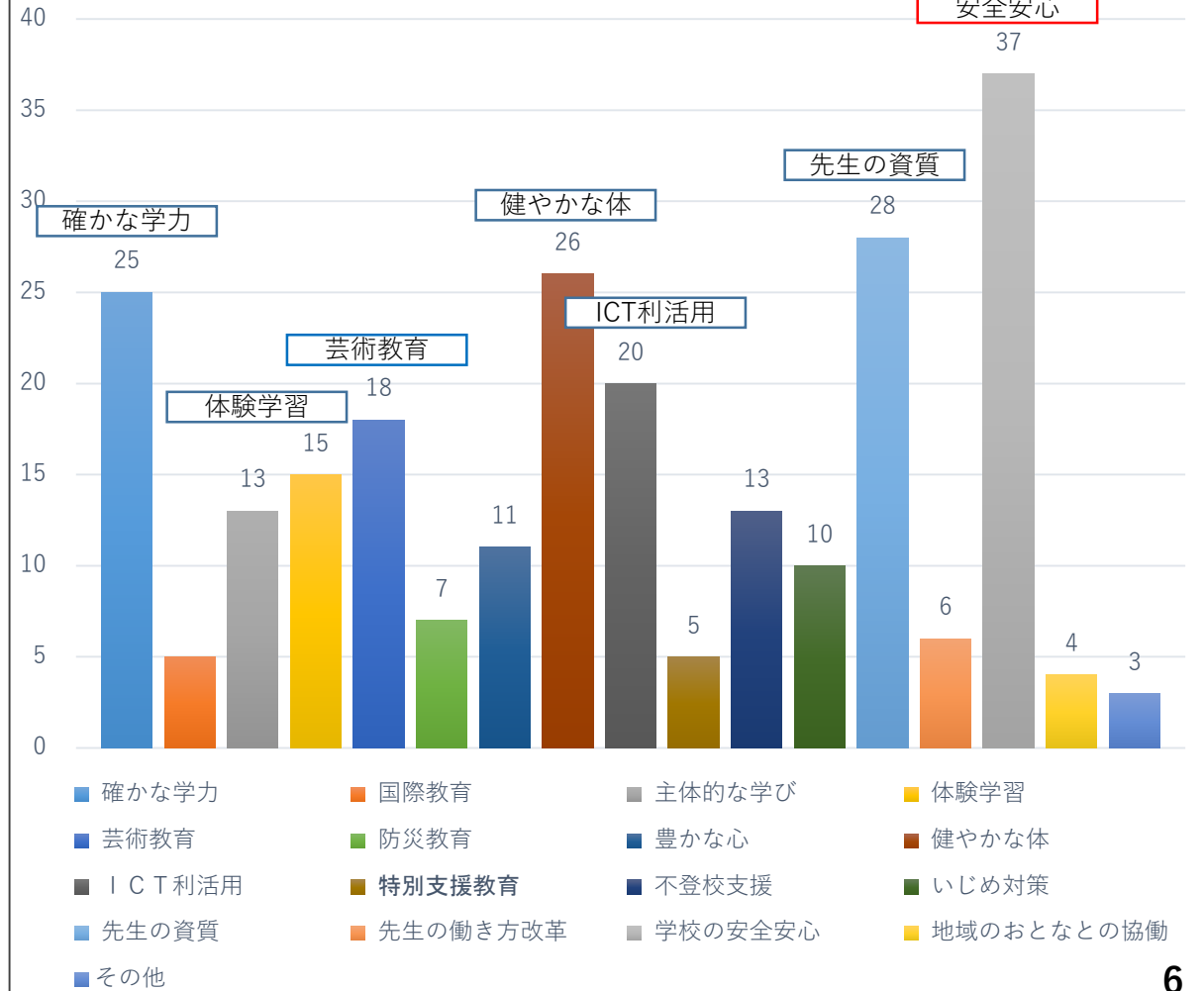
回答数：2,463名

回答数：82名

高校生



特別支援学校生



<児童生徒の主な意見要旨>

- ・給食が温かくおいしくなってほしい。
- ・自然体験・校外学習・職業体験の機会を増やしてほしい。
- ・もっと外国の言葉や文化を学び、将来的に役立てたい。
- ・体育の時間を増やし健康な体づくりができるようにしてほしい。
- ・一人ひとりレベルが違うので、それぞれに合った授業をしてほしい。
- ・一人ひとりに寄り添ってほしい。
- ・自分がやりたいこと、興味のあることを学びたい。
- ・未来の私たちにはPCやタブレットなどを使った授業が必要。
- ・これからはクリエイティブな人材が求められているため芸術などを学ぶことも大切。
- ・保護者の方や学校のまわりに住んでいる人と協力したら、もっと学校がよくなると思う。

<保護者の主な意見要旨>

- ・算数・数学など習熟度別に授業を実施してほしい。
- ・たくさんの人と関わり、ふれあうことで、相手を思いやる心を育ててほしい。
- ・運動会の種目が減り、楽しみがなくなった。
- ・自然学校や校外学習、社会と接する機会を増やしてほしい。
- ・リスニングやスピーキング能力向上に力を入れてほしい。
- ・自分たちで考え、企画し、実行できるようにしてほしい。
- ・子供に寄り添い、相談しやすい先生が増えてほしい。
- ・事務的なことを外部に委託するなど子供たちに向き合ってほしい。
- ・先生が忙しすぎると生徒一人一人と対話できなくなるので、まずは先生の働き方改革が第一。
- ・他の自治体と比べると、ICTの利用がまだ行き届いていないように感じる。

目的：第4期神戸市教育振興基本計画策定に際し、学校教育の主役である児童生徒や、その保護者の意見を参考とするため

対象：神戸市立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校で学ぶ児童生徒（小学4年生～高校生）、保護者

回答方法：児童生徒のGIGA端末に、アンケートを学校から配信 ※アンケート画面イメージ⇒
※高校3年生・3年次、定時制高校生にはチラシ配布
保護者に対しては、連絡ツール「すぐる」にて配信

実施時期：令和5年11月1日（水）～11月30日（木）

設問：1. 学年（選択）
2. 居住区（選択）
3. 学校にのぞむこと、期待すること（選択）⇒詳細は次ページ
4. 3でなぜその項目を選んだか、または学校や教育をよくするためのアイデアなど（自由記述）

アンケート調査（ちょうさ）ご協力（きょうりょく）のおねがい

神戸市では、令和6～10年度（5年間）の学校や教育のありかたをしめす「第4期教育振興基本計画（きょういくしんこうきほんけいかく）」をつくるための検討（けんとう）をすすめています。

学校・教育の主役であるみなさんの声を聞かせていただきたいため、アンケート調査（ちょうさ）を実施（じっし）します。

これからの学校づくりをいっしょに考えていきましょう。

※アンケートの入力がむずかしい場合は、保護者（ほごしゃ）の方などにつだってもらってもだいじょうぶです

令和5（2023）年11月6日（月）しめぎり 神戸市教育委員会事務局総務課（こうべしきょういくいいんかいじむきょくそうむか）

* 必須

1. 学年（えらんでください）*

- 小学4年生 または義務教育学校（ぎむきょういくがっこう）4年生
- 小学5年生 または義務教育学校5年生
- 小学6年生 または義務教育学校6年生

■設問3（下記16項目から3つ選択）

- | | |
|---------------|---|
| ①【確かな学力】 | 勉強がもっとよくわかる授業や自分の力に合わせた授業がおこなわれること |
| ②【国際教育】 | 神戸ならではの、英語などの国際的な勉強や、外国について学べる授業がおこなわれること |
| ③【主体的な学び】 | むずかしいことや専門的なことでも、自分が興味をもったことは何でも学べること |
| ④【体験学習】 | 自然体験や職業体験など、体験活動の時間がたくさんあること |
| ⑤【芸術教育】 | 音楽や絵などの芸術にふれる時間がたくさんあること |
| ⑥【防災教育】 | 地震や火事のとくに自分を守るための勉強や、防災について学べること |
| ⑦【豊かな心】 | 命を大切にし、他人のことを思いやるゆたかな心を育む授業や活動がおこなわれること |
| ⑧【健やかな体】 | 楽しく運動できる授業や活動がおこなわれること |
| ⑨【ICT利活用】 | タブレットやパソコンをつかった授業がたくさんおこなわれること |
| ⑩【特別支援教育】 | 体が不自由だったり、けがをしたり病気になったりしても、前向きに勉強できること |
| ⑪【不登校支援】 | 学校に行けなくなっても、学習の場所や他の人とかわれる場所がきちんとあること |
| ⑫【いじめ対策】 | なやんでいるときやつらいときに気がついてくれたり、いじめの相談にのったりしてくれること |
| ⑬【先生の資質向上】 | 楽しい授業をしてくれる先生、あたたかく寄りそってくれる先生がいること |
| ⑭【先生の働き方改革】 | 先生がいそがしすぎず、先生と話ができたり相談ができたりする時間がたくさんあること |
| ⑮【学校園の安全安心】 | 学校園が安全・安心な場所になり、設備などが新しくなってすごしやすくなること |
| ⑯【地域のおとなとの協働】 | 保護者や学校のまわりに住んでいる人と学校が協力しあって、学校がもっとよくなること |
- ⑰ その他（自由記述）

※【項目】はアンケートに未記載。また、特別支援学校、及び保護者に対しては表現を微調整。